



国際アクチュアリー会 (IAA) 死亡率ワーキンググループ アップデート #9 – ブダペスト, ハンガリー 2017 年 4 月

死亡率ワーキンググループ(MWG)が 2017 年 4 月に開催されました。21 か国から 28 名のメンバーのほか、24 名のオブザーバー、3 名のゲスト・スピーカーが出席しました。招待されたゲストは、Andrew Cairns (Actuarial Research Center, UK), Gyula Horvath (Hungarian Actuarial Association), Simon Brimblecombe (ISSA)です。このアップデートは議論をまとめたものです。すべての文書およびプレゼンテーションが本文書の最後にハイパーリンクされています。

MWG の存在意義は死亡率や長寿に関する情報やデータを調査、研究、発信することです。いくつかは MWG によって行われた研究によるもので、いくつかは他の組織により行われた研究によるものです。我々の目的は、会議やウェブページを通じて、世界のアクチュアリーやその他の方々に有益な情報を提供すること、そして、さらに情報交換するために例えばセミナーといった別の機会を設けることです。

会議において、現在のプロジェクトが議論されました。

- 年金受給者/年金/保険/国民の死亡率: Marc Tardif が、数か国の国民死亡率と保険群団死亡率を比較している死亡率比較タスクフォースの[プレゼンテーション](#)を行いました。より多くの国々からのタスクフォースへの貢献を歓迎します。このプロジェクトは、一般国民死亡率、年金加入者死亡率、年金受給者死亡率、保険加入者の終局死亡率および選択死亡率を必要としています。さまざまな国々が統一的な方法でタスクフォースに死亡率データを収集でき、提供できるテンプレートを作成することが提案されました。
- 高齢者の死亡率: Al Klein. 作業は進行中であり、IAA により承認を得た報告書を作成する予定です。
- 将来死亡率の長期的要因: Al Klein. IAA により承認を得て、2018 年にベルリンの ICA で発表される報告書を作成する予定です。
- 高齢者の死亡率改善: Sam Gutterman が簡単な[プレゼンテーション](#)をしました。死亡率改善のデータは長期間にわたって大きく変動しており、傾向を捉えることは難しいです。世界保健機関(WHO)は死因に関する多くの情報を持っていますが、高齢者の死因を特定することには多くの不確実性があります。ベルリンでの ICA2018 の文書を作成する予定です。
- 電子タバコ: Sam Gutterman が[ドラフトのプレゼンテーション](#)をしました。電子タバコは促進されるべきか、止めさせるべきか議論があります。問題は、アクチュアリーの集団として我々がこのトピックスに関する既存の医療研究にどのような価値をもたらすことができるかということです。このトピックスも研究しているイギリスの IFoA のタスクフォースにコメントを求めるためにドラフトが送付されました。

次のカントリー・レポートおよびプレゼンテーションが提供されました。

- Mika Mäkinen が最新の [Finland Country Report](#) からハイライトを発表しました。
- Marc Tardif が最新の [Canada Country Report](#) からハイライトを発表しました。
- Farid Flici が [Mortality Evolution in Algeria](#) を発表しました。
- Leza Wells が [South African Pensioner Mortality Investigation](#) を発表しました。
- Gyula Horvath が [Mortality trends in Hungary](#) を発表しました。
- Brian Ridsdale が [UK Update](#) の最新情報を発表しました。
- Dov Raphael が [Country Report - Israel](#) のドラフトを発表しました。

その他のトピックスは以下のとおりでした。

- Brian Ridsdale が、[Is longevity still improving?](#) を発表しました。イギリス、ヨーロッパおよびアメリカでは死亡率改善が低下していますが、2015 年と 2017 年は、特に死亡率の経験が乏しい年であることやこれが一時的なのか全体の傾向なのかという疑問が指摘されました。死亡率ワーキンググループは現段階では将来の改善について何らかの結論づけることはできませんが、この観測された変化に関してほかの人々に教育していくべきという一般的なコンセンサスとなりました。ISSA(南アフリカアクチュアリー会)の Simon Brimblecombe は、国際機関に提出することが重要であることに賛同しました。
- Andrew Cairns が、[IFoA International research in mortality](#) を発表しました。興味深い質問の 1 つは、血圧薬が死亡率を低下させるのか上昇させるのかというもので、ARC(アメリカ赤十字)の調査結果がアメリカの医学研究者と議論されています。彼は、IFoA により資金提供されている 3 つの主要プロジェクトを説明しました。研究は国際的に行われており、プロジェクトのうち 2 つは死亡率を完全に焦点としています。その意図は開業医に有用な結果を提供することです。彼は、IFoA が他の団体や研究機関と協力して国際的なプロジェクトを開発することに熱心であると述べました。
- Dale Hall が SOA により支援されている死亡率調査に関する [SOA research in mortality](#) を発表しました。最新の生命表のアップデートおよび米国の個人保険、年金保険の死亡率研究に関する経験率分析が含まれていました。これは、標準生命表と、個人年金経験死亡率や団体年金経験死亡率との比較の概要を提供するものです。彼は関連するいくつかの実務的な調査プロジェクトを強調しました。これには、8 か国の死因別死亡率に関する HMD、CDC データに焦点を当てた報告、過去の死亡率改善の要因、IFoA の死亡率モデリングプロジェクトの共同支援が含まれます。
- **肥満と喫煙:** Sam Gutterman が、死亡率に影響を与える 2 つの人間的な行動に関する死因について HMD データを用いて行った研究を[発表しました](#)。これは、喫煙の減少による良い影響と肥満の傾向による平均余命への悪い影響を定量化しました。
- Séverine Arnold が、[Cause-specific mortality differences by socio-economic class](#) を発表しました。発表は、社会経済階層間における死亡率格差の原因となる死因や、これが死亡率格差や全体的な平均余命に与える影響を示しているそれらの原因への潜在的な対処法を検証するシナリオを考慮したものです。平均余命の最大化を目的とすることは、実際には死亡率格差を拡大させるでしょう。最適な解決策を見つけることは公共政策の問題です。次のステップは公共政策へのアドバイスをもって支援するために、健康に費やされる予算に制約を導入することです。

その他の事項

- Dimitri Pomazkin が、平均余命の限界が存在するかどうか、死亡率改善はどの程度の期間にわたり継続するのかなどに問題提起する研究結果である [Forecasting Mortality Using Logistic Equations](#) を発表しました。
- Sam Gutterman が 2017 年 1 月に米国で開催された「Living to 100」セミナーに関する最新情報を提供しました。このセミナーは、長寿化、定量化(モデリング)、高齢化の適用および影響という 3 つの分野から構成されています。
- Michael Sherris が、2017 年 2 月 15 日にオーストラリアで開催された高齢者死亡率に焦点を当てた[長寿化リスクの研究ワークショップの最新情報](#)、2017 年 2 月 16 日開催された長寿化研究フォーラム、および関連する研究の最新情報を提供しました。
- Ksenia Novikova が、死亡率ワーキンググループの [Marketing Committee Update](#) について発表しました。マーケティング活動や将来の計画が議論されました。
- Ermanno Pitacco が、死亡率ワーキンググループのウェブサイトの最新情報および編集上の論点を提供しました。
- 委員会に参加する新規メンバーには、Dale Hall (US SOA), Onofre Simoes (Portugal), Marine Habart (France)が含まれます。
- Leza Wells が 2 人のほかのメンバーの支援を得て、サポートチームの議長となることを合意しました。

これが死亡率ワーキンググループの議論の概要です。今回の会議(および以前の会議)の議事録、プレゼンテーションおよび資料ならびにアップデートの翻訳は以下から(登録不要で)入手可能です。

www.actuaries.org/mortalityupdates

このアップデートの感想をお伝えください。

[簡単なアンケートに回答するにはここをクリックしてください。](#)

質問は以下のとおりです。

1. どの言語でアップデートを読みましたか?
2. どの情報や項目が最も役に立ちましたか?
3. アップデートで知りたいことがほかになにかありますか?
4. あなたの国で死亡率に関するセミナーを開催することに関心がありますか? もしそうなら、あなたのお名前、E メールアドレス、国名を教えてください。

参考

Mortality Working Group Information Base:

<http://www.actuaries.org/mortalityinfo>

IAA Mortality Working Group Updates:

www.actuaries.org/mortalityupdates

資料

会議の資料およびプレゼンテーションへのハイパーリンクは以下のとおり

- [Mortality Comparison Task Force](#) (Marc Tardif)
- [E-cigarettes paper](#) (Sam Gutterman)
- [E-cigarettes presentation](#) (Sam Gutterman)
- [Older age mortality improvement](#) (Sam Gutterman)
- [IFoA International research in mortality](#) (Andrew Cairns)
- [SOA research in mortality](#) (Dale Hall)
- [Finland country report](#) (Mika Mäkinen)
- [Canada country report](#) (Marc Tardif)
- [Mortality Evolution in Algeria](#) (Farid Flici)
- [South African Pensioner Mortality Investigation](#) (Leza Wells)
- [Mortality Trends in Hungary presentation](#) (Gyula Horvath)
- [UK Update](#) (Brian Ridsdale)
- [Israel Country Report](#) (Dov Raphael)
- [Is longevity still improving? Presentation](#) (Brian Ridsdale)
- [Marketing Update](#) (Ksenia Novikova)
- [Forecasting Mortality Using Logistic Equations](#) (Dimitri Pomazkin)
- [Longevity Risk Research Workshop and Forum in Sydney - Update on related research](#) (Michael Sherris)
- [Cause specific mortality differences across socio-economic categories](#) (Séverine Arnold)
- [Obesity and Smoking](#) (Sam Gutterman)

セミナー

2017年4月18日、IAAの死亡率ワーキンググループ(MWG)と人口問題ワーキンググループ(PIWG)は、ブダペストで高齢化と死亡率の最新動向に関する1日のセミナーを開催しました。このセミナーはさまざまな国々から80人以上の参加者が集まりました。このセミナーのトピックスには、現在の死亡率改善の水準が先細っているのか、アクチュアリーは高齢者の死亡率に関して適切な前提を使用しているのか、死亡率は将来どのように変化するのか、これらの変化の要因は何なのか、といった重要な現在の課題がありました。プレゼンターは、人口の高齢化が退職、長期ケア、ヘルスケアシステムに及ぼすであろう重大な財政的なストレスを軽減する解決策にアクチュアリーがどのような影響を与えることができるか、また、これらの将来の人口動態の進展がわれわれの研究にどのように影響するのか議論しました。プログラムおよびセミナーでのプレゼンテーションはIAAウェブサイトです。

http://www.actuaries.org/CTTEES_TFM/presentations.pdf

今後のセミナーについて

人口問題ワーキンググループと死亡率ワーキンググループは IAA シカゴ会議にあわせて 2017 年 10 月 3 日に、死亡率その他ライフサイクルにおける偶発事象や人口問題に関するセミナーを計画しています。このセミナーはすべて公開されます。登録が必要です。議題、登録に関する情報、セミナーに関する詳細は IAA ウェブサイトで入手可能となります。ご関心があれば iaamwg@actuaries.org までお願いします。

International Actuarial Association | Association Actuarielle Internationale

99 Metcalfe Suite 1203 Ottawa, ON K1P 6L7 Canada

Tel: 1-613-236-0886 | Fax: 1-613-236-1386

secretariat@actuaries.org | www.actuaries.org